



# 酪農情報



創刊号

発行日：平成18年1月25日

発行元：バイオ科学株式会社

## ☆酪農家紹介（宮城県登米市 千葉敏幸さん）※ 訪問・見学はお控えください

“良質な草作りが牛作りになる。”

聞き慣れた言葉の中に、こだわりと信念を持たれ酪農経営に取り組む！

1. 作業人数：3人
2. 頭数：38頭（搾乳頭数：33頭、乾乳頭数：5頭）、繁殖（親20頭、子20頭）、育成牛（15頭）
3. 乳量：約28kg/日/頭
4. 乳肝の使用期間：①平成17年3月～平成17年6月  
（3ヶ月間使用後、一時給与を止める）  
②平成17年8月～現在に至る：継続中
5. 乳肝の使用ステージ：全頭給与
6. 乳肝の給与量：①分娩前1ヶ月前～分娩～種付け：約250g（約2ヶ月間）  
②種付け～分娩1ヶ月前：約200g
7. 給与方法：トップドレス（配合にかける前にそのまま食べる牛もいる）

## ー「バイパスサプリ乳肝プラスリジン」を使ってみてー

1. 毛づやが良くなった。
2. エサの飼料効率が改善された。
3. 泌乳ピーク値が維持されるようになった。
4. 周産期障害が低下した。

以前から課題であった‘代謝障害’の改善に‘乳肝プラスリジン’はたいへん効果的でした。代謝の流れが改善されることにより、生産サイクルが安定し、経営の面からも安定につながった。

### 「乳肝プラスリジン」の効果を実感！

使い始めてから3ヶ月後に一度「乳肝プラスリジン」の使用を止めたとき、それまで順調にきていた牛の調子が徐々に悪くなってしまい、また「乳肝プラスリジン」の使用を再開し始めると、牛の調子が改善された。

### 「乳肝プラスリジン」という製品の考え方

「乳肝プラスリジン」は確かに良い製品であるが、これはあくまでサプリメント（健康補助食品）であることしっかり理解して使わなければならない。良い牛を作るには何よりもまず良質な粗飼料を与えることが重要であり、乳牛をしっかりと育てるうえでまず、その土台がしっかりできていなければ、「乳肝プラスリジン」を使っても効果はでない。

## ー「乳肝プラスリジン」との出会いー

“それは、牛の栄養面の細かな管理を考えて”

「乳肝プラスリジン」を使用するきっかけになったのは、自給飼料の不足の為、購入飼料を利用しようと考えたときでした。それまでの自給飼料と違い購入飼料を利用する際の問題点として、購入飼料では栄養面での細かな管理ができないことでした。そういう状況の下、不足する栄養素を補うサプリメントをいろいろ試す中で「乳肝プラスリジン」に出会いました。現在の「乳肝プラスリジン」の給与量は、千葉さんがいろいろ試した結果、メーカーが推奨する給与量よりも多く使用した方が効果的だと感じているそうです。

## ーこれからの目標ー

“スーパーカウを何頭も作る！”

今後の目標は、“スーパーカウを何頭も作る！”ということ。なぜなら、これからの時代はコストと労働力を減らす方向で考えなくてはいけない。このためには1頭の牛が2頭、3頭分の働きをするスーパーカウの導入によって、全体としての頭数削減ができ、それによる労働力の減少や堆肥の減少ができると考えているためです。

## 「ルーメンバイパス製剤」シリーズ ※特許取得（特許番号：3728738）

「バイパスサプリ乳肝」は、①乳量・乳質の向上、②周産期の対策、③繁殖成績の改善を目的に開発したルーメンバイパス製剤で、ルーメン内で分解されにくく、小腸で速やかに吸収されるようにコーティング処理をしています（バイパス率80%以上：自社試験）。

「バイパスサプリ乳肝」には、肝臓の健康に必要とされる7種類のビタミン・アミノ酸を主にバランス良く配合しているのので、日常の栄養管理のサプリメントとして十分に役立つものと確信しております。

「バイパスサプリ乳肝プラスリジン」には、乳肝にプラスして不足がちなアミノ酸であるリジン配合した商品です。アミノ酸バランスを整え、効率の良い乳生産が期待できます。



バイオ科学株式会社

ホームページアドレス

<http://www.bioscience.co.jp/>

本社・工場	徳島県那賀郡那賀川町工場地246-1	TEL:0884-42-3090
関東営業所	栃木県宇都宮市御幸町44-1	TEL:028-663-1129
福島営業所	福島県伊達市字館ノ内38-44	TEL:024-584-2808
札幌営業所	北海道札幌市東区北31条東16-2-2	TEL:011-786-8399
阿北営業所	徳島県板野郡上板町七条字古町54-1	TEL:088-694-6282